

川崎市中央卸売市場北部市場

令和2年(2020年)5月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	数量(トン)	平均単価 (円)	数量の前年 同月比(%)	平均単価の 前年同月比 (%)
1	生 鮮	本まぐろ	新型コロナウイルスの影響から、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価は横ばいでした。	15	2,194	59	99
2		めばちまぐろ	新型コロナウイルスの影響から、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価は大幅に下がりました。	1	575	79	41
3		はまち	鹿児島産(5kg)主体でした。前年と比べ、取扱数量はやや減少、平均単価はやや下がりました。	13	1,072	90	92
4		あじ	九州方面中心の入荷でした。前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はやや上がりました。	52	496	69	106
5		いか	北陸方面中心に入荷がまとまり、前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価は下がりました。	29	877	128	83
6		かつお	千葉方面中心の入荷でした。取扱数量は前年と比べ大幅に減少、平均単価は大幅に上がりました。	16	846	23	190
7	冷 凍	めばちまぐろ	新型コロナウイルスの影響から需要回復せず、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はやや下がりました。	35	1,225	71	96
8		いか	八戸産が主体でした。飲食店関係の消費が落ち込む一方、夏漁の見通しの悪さから、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価はかなり上がりました。	4	1,307	27	129
9		さけます	前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価は横ばいでした。	23	997	48	98
9	加工	さけます	大きいサイズが多く、10kg主体でした。前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価はかなり下がりました。	19	885	31	78

[増減基準]

- ①並み、横ばい 前年比 \pm 2%以内
 ②やや増加(減少) 前年比 \pm 3~10%
 ③増加(減少) 前年比 \pm 11~20%
 ④かなり増加(減少) 前年比 \pm 21~50%
 ⑤大幅に増加(減少) 前年比 \pm 51%以上